



熊本信愛善回薇会
熊本市上林町3-18
TEL354-5355(代)
印刷 橋本印刷
TEL(0968)38-2020



会長挨拶
善回薇会会長
米岡 圭子

同窓生の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。会員の皆様には、日頃より同窓会の活動に温かいご理解と多大のご協力を頂き、心より感謝致しております。

私事ですが、私は四月から宮崎前会長様からその職務を引き継ぐことになりました。三月に教職退職を控え、母校に恩返しをしたいと思います。微力ながらも自分出来る事を全力でやってみようという決意致しました。

私にとっても同窓生の皆様にとっても、信愛女学院は心の故郷です。心の基地です。

だから、青春時代の友がいつでも帰って集える母校が永久に存在して欲しいし、大きく発展して欲しいと願っています。

その為に私達出来る事は、現在の在校生やこれから高校生になる人達に、母校への誇りを語り合い合う姿に見える形にする事だと思えます。私達が生き生きと明るく繋がる姿に、若い人達はきっと惹かれ集まってくる事でしょう。人が多く集まると喜びも楽しみも倍増します。生活が活気づき、希望が膨らみます。

前会長様は「同窓会の輪を広げよう」をスローガンに掲げ、同窓生の繋がりを広げる組織作りを十年間尽力されて来られました。今、その成果が目に見える形になってきています。

今年も、この成果を無にする事のない様に、「同窓生の輪を広げよう」を善回薇会活動の第一目標に掲げました。そして、その目標達成のための企画を本部役員一同で計画し準備いたしている所です。同窓生の皆様に喜んで頂ける様に、役員一同、精一杯努めてまいります。

ここで、本年度の年間計画の中で中心となる大きな企画を紹介いたします。(一)六月十一日(土)に「ばら成人会」を行いました。二回目の成人式とも言え

る四十歳の記念の年に母校へ招待し、かつてのクラスメートや担任の先生方と懐かしい日々を語り合せて楽しい時間を共有して頂く企画です。今もなりました。

(二)七月二日(土)に支部長会を致します。現在十八の支部が結成されています。今年支部の数を増やす事に重点を置いていきます。身近な会員同士が繋がって同窓生の輪を広げて頂きたいと願っています。

(三)十月二十一日(土)に母校の華秋祭に参加致します。同窓生の作品展示やバザーを行います。又、この日には、三回目の成人式とも言える六十歳の記念の年に母校へ招待し、かつてのクラスメートや先生方との絆を深めて頂く還暦学年会も企画しています。高校生の発表もご覧になれます。是非、卒業生へ案内致します。私も還暦学年会です。楽しみにしているところです。

その他にも卒業していく三年生との親睦会等があります。それらの事については次号でお知らせしたいと思います。

最後に本年度から始まる企画をご紹介します。(四)今年から年会費をお願いする事になりました。少子化に伴う生徒数の激減を食い止め、母校を守る為にも、同窓会の活動を充実させる必要があります。同窓会が生き生き活動することは母校の生徒募集を応援する事にもなります。年会費はその活動資金に充てられます。

会員の皆様のご理解とご協力をどうぞお願い致します。趣意書につきましても、同封の振込用紙にて詳しく述べましたのでご一読下さいませ。

この一年間で、母校との繋がりを一層強めて頂けたら嬉しいですね。

最後になりましたが、会員の皆様方がご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

を聞き心ばかりのお祝いをさせていただいておられます。久しぶりの旧友との再会で賑やかに楽しい光景が見られ、招待してよかったですと役員一同喜んでおります。



感謝の十年間
顧問 宮崎マサ子

平成十三年度より十年間、同窓会長を務めさせていただいた私は、今振り返ってみて、只々感謝の気持ちでいっぱいです。

平成八年より十一年まで勤務された卒業生でもある片岡礼子校長先生から、同窓会も生徒募集に応援をと言われた言葉が、私の頭の中にとっかかりつづき、会長となつた私は、生徒募集のためにはどうすればよいかと考えました。

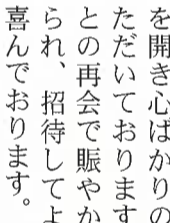
まず、役員会で、「同窓会の活動目標」「同窓会の輪を広げよう」を挙げ、対策を話し合いました。その一つとして、県内各地に支部設立を行うこととす。

十四、十五年には、旧職員の吉村正美先生を引っ張り出して、阿蘇方面をスタートとして、毎日、熊本県内を東西南北へと走り回りました。多忙な中にも同窓会のために快く多くの会員が協力して下さいました。毎月発足していく喜びと感動と感謝でした。

今後とも続けて支部設立に取り組んでいただきたいと思います。願っております。

十四年秋には、当時の後援会長森宏様のお誘いで、華秋祭・バザーへの参加ができるようになりました。現在も続けて楽しく参加させてもらっております。十四、十七年までのバザーの益金は、カンボジアの修道院のジープ購入にと寄付いたしました。

この日には、還暦学年会



ご挨拶
校長 松尾 京子

同窓会の皆様にはお元気で過ごしてのことと存じます。去る三月十一日に起きた未曾有の大地震と大津波、それに原発事故等で、無数の人が犠牲になり、被災者は苦しみと悲しみと不安の中におられますが、その生き方を通じて、冷静さ、感謝の心、人の絆の大切さを改めて気づかされます。

先日、顧問の世良和子様から信愛の書道展で金賞を受けた同窓生西村道乃様の作品「聖書と私」をご紹介いただきました。たまたまなく、苦しいとき私の側に、聖書がある

私の手に、聖書がある。私のひざの上に聖書がある。いつでも、どんなときでも聖書は私の近くにあり、そしてうれしいと感じるとき私の胸に、聖書がある

この作品の美しい、やわらかな書体もまた、人の心を和ませます。毎日の学校生活の中で学んだこと、共に祈ったこと、聖母祭やクリスマス祭、宗教の授業で知ったことが、徐々に人の心に浸透していくのだと思うと、教育の大きさに感動します。

五月八日は体育祭です。生徒たちはこの大型連休にも登校して、校庭の所々でそれぞれ応援団の練習に励んでいます。「若さって、素晴らしい！」私は毎日、中学生、高校生からパワーをもらっています。

最後になりますが、前会長宮崎様に深く感謝を申し上げます。また新会長米岡様と執行部の方々のご就任を心からお喜び申し上げます。今後ともご支援をお願いしつつ、同窓会のご発展とご活躍を期待いたしております。



宮崎顧問と新役員

卒業生の皆様へ
年会費のお願い
今年度より同窓会活動資金として年会費一口2,000円をお願いすることになりました。(お一人何口でもうれしいです。)
納入期限は12月31日までです。
なお、年会費につきましては別紙振込用紙の方に記載しております。
よろしく願い致します。

Table with 2 columns: Date and Event Name.
Main Events:
6月3日(6日) 高校総体
11日(8日) ばら成人学年会
25日(28日) 熊本市中体連
7月2日(5日) 熊本市中体連
7月18日(21日) 支部長会
9月1日(4日) 始業式
9月17日(20日) 信愛中対象入試説明会
10月22日(25日) 華秋祭・バザー
12月21日(24日) クリスマス祭
12月22日(25日) クリスマス式
12月24日(27日) クリスマスマスキャラリング

同窓生や学校からのお知らせが確実に早く、多くの同窓生の方々に届くように県内外に支部を設立しております。また、各支部では、地域単位で同窓生の親睦を図り楽しく活動しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

同窓会や学校からのお知らせが確実に早く、多くの同窓生の方々に届くように県内外に支部を設立しております。また、各支部では、地域単位で同窓生の親睦を図り楽しく活動しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 善回薇会会長 米岡 圭子
関東支部 川野 英子
関西支部 磯田 昌子
宇土支部 内田 道子
四水支部 高見 伸代
南阿蘇支部 長野 敏子
合志支部 松本恵美子
小国郷支部 石田美紗子
支部長 松下 玲子
熊本南地区支部 木村須美子
支部長 高木 千景
石垣支部 高木 千景
沖繩本島支部 亀島 博美
熊本東部A地区支部 御法 順子
熊本中央A地区支部 川田 幸子
熊本北部A地区支部 村上 栄子
支部長 村上 栄子
植木支部 福島 敦子
熊本西部A地区支部 窪 京子
支部長 孫代 秀子
天草支部 木本 圭子
支部長 木本 圭子



同窓会の輪を広げよう

還暦学年会



平成22年の10月23日(土)本校の華秋祭(文化祭)において還暦学年会が行われました。昭和44年卒の皆様がめでたく還暦をお迎えになり母校の食堂で恩師、級友の皆様と懐かしいひと時を過ごされました。

本年度は、45年卒の皆様にご案内いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

還暦学年同窓会に参加して 田中 リエ(昭和44年卒業)

昭和44年3月、熊本信愛女学院を巣立ってはや、42年の年月を経て還暦を無事に迎えてきて幸せに感じています。昨年10月の華秋祭での還暦学年会に参加させていただき、三年間の思い出の沢山詰まった母校を42年ぶりに訪れ、とても感激しました。当時は、木造二階建ての講堂での体育の授業でしたが、現在は、アリーナ、体育館と学院内のすばらしい施設に驚きと嬉しさと共に羨ましさを感じる程、母校の発展に限りない喜びを感じました。そして、恩師、旧友との夢のような再会に懐かしさと喜びに感激しました。還暦学年会を機に、今年度の二月に森川先生を囲んで、とても楽しい思い出深いクラス会が実現できましたことに、感謝しています。創立110周年という区切りの年に、意義深い学年会を開催して頂いた役員の皆様、学院関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。これを機に同窓会の輪が広がり薔薇会のさらなる飛躍と発展を心よりお祈り申し上げます。



ばら成人学年会



平成22年6月5日に昭和63年卒業のばら成人会が行われました。懐かしい母校で恩師、級友の皆様と楽しい時間を過ごされました。お子様も一緒に賑やかです。

ばら成人会は40歳をお迎えになった同窓生の皆様を母校にお招きして、2回目の成人式をお祝いし、親睦を深めようと毎年6月第1土曜日に開催されます。

本年度は平成元年卒業の皆様をお招きし、6月11日(学校振替休日のため)に開催致します。

楽しいイベントも準備しました。今後も益々ばら成人会に皆様ご参加いただき、同窓会に新風を吹き込んで下さい。お待ちしております。

ばら成人会に参加して 井上ゆかり(昭和63年卒業)

去年の春、信愛女学院へ娘が入学したのがきっかけで同窓会の幹事をする事になりました。あまりの大役に尻込みをしながらも役員の方々に助けてもらい無事「バラ成人会」を迎えることが出来ました。

当日、みんなが覚えていてくれるか不安の中、受付をしていると「木村さん!?!」と声をかけてくれるなつかしい声に不安も消え楽しく一日を過ごすことが出来ました。

校舎は相変わらずきれいに掃除がされており、生徒のみなさんも礼儀正しく笑顔で挨拶をされている姿は今も変わらないんだなあと感心しました。

娘には女性らしい教育とボランティアの心を学んでほしいと思い「きびしい信愛のきびしい寮」に入れたつもりでしたが、私が居た頃と比べ、ずいぶん校訓もゆるくなり時代の流れを感じました。

娘は22名という少人数のクラスでいい先生方や友達に恵まれ、とても充実した学校生活を送っています。22年後、娘が「バラ成人会」で友達と再会できるようにずっと続けていっていただきたいと思います。

役員の方々にはお世話をして頂いて本当にありがとうございました。

支部だより



天草支部長 木本 圭子

私は、昭和五十六年卒業の旧姓宮崎圭子と申します。元教頭の飽田先生と同じ法人内の知的障がい者施設に勤務しています。

同法人には同窓生が私を含め四人勤務しています。昨年七月、飽田先生から信愛の天草地区の同窓会を開催するよう、また天草支部を立ち上げてほしいとの依頼を受けました。

すてに上天草支部では、毎年同窓会が開催されていると聞いていたが、その時点で天草・苓北地区で、同窓会があったと聞いたことはなかったように思いました。

最初に、同窓会の日程と場所を決めてから案内をすることにしました。困ったことに私は、同窓会の名簿を持っていませんでした。私自身、消息不明者でありました。そこで、薔薇会の宮崎会長より、大先輩である蒲島さんを紹介して頂き、実際にお会いしたこともなく、突然電話で同窓会の話を持ちかけた私に、蒲島先輩は快く名簿を提供して下さいました。それに、本来ならば全同窓生に案内をしなければならなかったのですが、今回は、名簿のなかで自分の知っている名前があれば電話をしてお願ひしたり、法人内に勤務する同窓生のお友達に参加を

お願いしたり、どこどこに同窓生がいるという情報をもらうと、直接家や職場に伺ったりして、皆さんに協力をお願いし、参加者を募りました。同窓会の案内をしていく中で、「信愛」卒業というだけで、親近感を持つたり、若かりし頃の思い出話が弾んだりしたこともありました。また、同窓会が行われるのを楽しみにしていたと喜んでくださった先輩や、仕事の都合で参加出来ないけれど、来年はぜひ参加したいと話す方もありました。

そして、ついに九月二十三日、同窓生二十三名と上天草支部長の平田さん、学校より校長先生、山田先生、島村先生、薔薇会宮崎会長、飽田先生を来賓にお迎えし、第一回の同窓会を開催することが出来ました。皆様方の協力のおかげと感謝しています。初めてのお会ひする方や卒業以来の再会となった先輩・後輩等、学生時代の厳しかった寮生活の思い出や、先生方との思い出を語りながら、おさげや三編みでバツテン印の制服を着た信愛生に戻ったような楽しい時間を過ごしました。また、今回の同窓会発足に合わせて「天草を一つ」ということを提案し、上天草・天草(苓北を含む)支部を一つにしました。今後の同窓会の会場については、上天草・天草地区交互に行う予定です。現在、天草には、六〇三名超の同窓生がいっぱいいます。今後は、同窓生同士アンテナを張り巡らせて、参加人数を増やしていけたらと思っています。

産声を上げたばかりの天草支部ですが、今後共、よろしくお願ひいたします。

肥後銀行女子駅伝部初代監督 ご就任おめでとうございます

とびせ たかこ
飛瀬 貴子さん(平成5年普通科卒)

肥後銀行に女子駅伝部が新設され、平成二十三年一月一日付で初代監督に就任されました飛瀬貴子さんが、ご多忙の中、母校を訪問していただきました。

飛瀬さんは、身長一六四センチとスタイル抜群。凛としたお姿には、指導の重責、社会人としての責任感を伺い知ることが出来ます。それでも内に秘めた女性的な落ち着き、穏やかなお人柄がとても好印象でした。

高校生活での思い出は、山口先生のお家での初めての下宿生活だそうです。約十九人の多人数食事で、番などを決め、朝連、朝食、学校、部活と目標に向かって勉強と陸上競技生活を両立されました。

その後、京セラ陸上競技部に所属。世界陸上アテネ大会で四位の大健闘。久留米工大女子駅伝部初代



校長先生、山口教頭先生、同窓会会長と一緒に

監督に就任。創部五年目にチームを全国大会へ出場。平成二十三年一月一日に肥後銀行人事部研修部門に配属。

一月八日付熊本新聞「人ひと」の欄に掲載されました。目標は、全日本実業団対抗女子駅伝に出場できること。「競技を通して学んだことは、人生に必ず生きる。」との信念をもつていらつしやいます。

「在校生へのメッセージ」

高校三年間で陸上と多くの事を母校である信愛女学院で学びました。人への思いやりと感謝の気持ち、挨拶を始め礼儀を重んじること、私生活のあり方など人としての基礎的なことが、今の私の土台となっています。今の自分があるのは、貴重な三年間があったからだと思います。母校の皆様も、それぞれの夢や目標に向かって決して諦めず続けて下さい。

編集部より

過去三年間、「全国女子高校駅伝(都大路)」の県予選大会ではNHKラジオ中継車に乗って放送してもらっています。

力強いメッセージを聞き、真から勇気が湧いて心が温かくなりました。

クラブ紹介 薔薇会コーラス部

薔薇会コーラス部は、平成11年3月に発足し、同窓生の絆を深く、親睦を図りながら、楽しく歌い続けられています。現在20名の会員で、10月22日の華秋祭での発表に向けて練習に励んでおります。

ご指導は、中村和美先生(本校音楽の先生)です。ピアノ伴奏は、西村綾子先生(本校平成14年卒業)。



練習日 毎月第1と第3水曜日
午後1時30分~3時まで
場所 本校音楽室(6階)
曲種 童謡、唱歌、抒情歌
会費 (1ヶ月)2,000円(内積立500円)
活動 薔薇会同窓会、華秋祭でのステージ発表、施設訪問などです。

ただ今会員募集しています。同窓生の方であればどなたでも参加できます。練習日には、学生になりきって楽しい時を過ごしております。ソプラノとアルトのハーモニーがとてもステキです。ご入会希望の方は、係り 森田英子(096-378-7830)までご連絡下さい。

華秋祭作品募集のお願い

本年度も10月22日(土)に華秋祭が行われます。昨年は、19名の同窓生の皆様の出品があり、53点をご出展いただき目を見張るようなすばらしい作品が展示されました。これも同窓生の皆様の平日のたゆまない努力と豊かな感性、個性、趣味の範囲を越える優秀な作品の数々でした。ぜひ皆様も華秋祭で作品を展示していただき私達に感性をあえて下さい。とても楽しみにお待ちしております。

平成24年度から本校の夏服がリフレッシュします!!

来年から夏服が変わります。今、学校、後援会、同窓会、在校生でプロジェクトチームが編成され検討中です。在校生も楽しみにしています。

名簿変更係より

結婚や転居により、氏名変更・住所変更等が生じた時には、卒業年度・科・組・氏名(旧姓も)・現住所をお書きの上、〒860-8557 熊本市上林町3-18 熊本信愛女学院同窓会薔薇会事務局 までお出し下さい。ご家族の皆様にもご協力をお願い致します。

今、私達の住む日本は、3月11日の東日本大震災を基点にして大きく変わろうとしています。ほんの数分間で、衣食住を失くされ被災された人々のことを思うと胸が痛くなります。これほど普通に生きていられる事がどれ程有難く幸せなことかと感じた事はありませんでした。東北の人達の我慢強さや日本人の真面目で協調性のある民族性が、世界中で高い評価を受けています。その一方で世界中から色々な支援を頂いています。本当に有難く感謝したいと思ひます。

私達も「信・愛」の精神で何が協力できるかを考え出来る事をしていきたいものです。

今年も6月の「ばら成人会」10月の「還暦学年会」で同窓会の輪が広がり、現役の学生さんや卒業生の皆様の役に立てれば、幸いに思ひます。それと共に同窓会の益々の発展を祈念いたします。

最後になりましたが、この度の会報の編集にあたり快くご協力を頂いた皆様へ心より感謝申し上げます。学園での皆様との再会を楽しみにお待ちしております。編集部一同より